

事業報告書（令和元年度）

事業名 研修交流会「フェアトレードとサステナビリティ」

団体名 岡山フェアトレードの会 担当者名 野本 恭子

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

<p>1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）</p> <p>日時：令和元年 12 月 14 日（土）14:00～16:30</p> <p>場所：ハッシュタグ（岡山市北区北長瀬表町 2-17-80 BRANCH 岡山北長瀬内）</p> <p>参加対象者：一般、学生</p> <p>参加人数：17 名</p> <p>内容：下記のとおり</p> <ul style="list-style-type: none">・チラシ等に掲載するイベント名を下記のとおりとした。 「フェアトレード研修交流会『SDGs×エシカル消費 どんな未来に住みたい?』」・2 部構成で実施した。<ol style="list-style-type: none">(1) 講演「フェアトレードタウン、フェアトレード大学へ至る道、その後」 講師：下澤 嶽氏（静岡文化芸術大学教授／はままつフェアトレードタウン・ネットワーク コアメンバー） 内容：日本で 4 番目のフェアトレードタウンになった浜松市から、運動の推進メンバー中心的存在である講師から、日本初のフェアトレード大学となった静岡文化芸術大学や浜松市の取り組み、エシカル消費とフェアトレードとの関係、日本各地のフェアトレードタウン運動について詳しくお話しいただいた。(2) グループディスカッション テーマ：「5 年先・10 年先の未来をどんな社会にしていきたいか」 内容：10 月 12 日に岡山県国際交流協会との共催で開催した「フェアトレード交流会」で参加者から出された意見をキーワード別に分類して参加者に提示し、3 つのグループに分かれて議論を発展させ、内容を深めた。最後に各グループから発表して意見を共有した。
<p>2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ</p> <ol style="list-style-type: none">① イベント名称に「SDGs×エシカル消費」という文言を加えるとともに、チラシデザインに SDGs のロゴマーク画像を取り入れ、フェアトレードと SDGs との関連を意識付けした。② 県内のフェアトレード活動を行っている高等学校に参加を呼びかけた。（学校行事等と重なり難しかったが、岡山一宮高校、県立玉島商業高校から教師と生徒が参加）③ 「持続可能な社会づくり」をメインテーマとして「どんな未来にしたいか」ということに力点を置いて講演とディスカッションを行った。講演では、実際にフェアトレードタウンとして活動している浜松市の取り組みを分かりやすく紹介した。

<p>3. 取組の成果（参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など）</p> <p>① 年末の多忙時期に重なったため参加者が目標より少なかったが、その分、濃密な話し合いができた。</p> <p>② 浜松市でフェアトレード活動を行っている講師から、フェアトレードタウンの意義と具体的な活動内容をお聞きし、理解を深めることができた。日本各地でフェアトレードタウンが増えている現状や、フェアトレードタウンになることで住民の理解度が進み、消費行動や行政の取り組みに好影響を与え、町ぐるみで持続可能な社会づくりへの積極的な関わりが生まれていることがわかった。</p> <p>③ フェアトレード大学についても知らせることができ、若い世代の参加者に進路や将来の活動について考える機会を与えることができた。</p> <p>④ 参加者の感想</p> <ul style="list-style-type: none">・フェアトレードという言葉は知っていたが、今日改めて知識を深めることができた。貴重な活動だと思う。自分にできるテーマを早く見つけたい。・自分の持ち物を見直し、サステイナブルな視点での消費行動をしたい。・ニュースでも環境問題が取り上げられる中、身近なところから、プラスチック廃棄やフードロスなどの問題に取り組んでいきたい。・岡山がフェアトレードタウンに一步近づいた思いがした。大学と連携して、学生によるフェアトレード学生ネットワーク（FTSN）の中国支部が生まれることを期待。また、高校のネットワークが構築されることも期待する。
<p>4. 今後の課題と展望</p> <p>フェアトレードに対する認知度は、ゆっくりとしたペースではあるが、だんだん進んでいると実感している。フェアトレードやSDGsのイベントに参加する人や発言する人が増えていくこと、ディスカッションで視野を広げ理解を深めることを通じて、豊かで持続可能な地域づくりに貢献できると考える。あらゆる機会を通じて、大学や高校などの教育関係機関、企業やNGOなどの活動団体、JICAや国際交流協会、消費生活センターなどの行政機関との連携を強め、ネットワークを広げていきたい。</p> <p>公民館などでの出前講座、フェアトレード店舗マップの改訂・充実、活動内容の発信などの活動を今後も継続して行い、活動への理解者や協力者を増やしていくことに力点を置いて活動を進めていきたい。</p>

別添資料

- 1 広報チラシ
- 2 配布資料
 - ① 講演レジュメ
 - ② グループディスカッション用キーワード集
 - ③ 5Rの説明資料
 - ④ アンケート
- 3 当日の写真
- 4 参加者名簿
- 5 講師提供資料（フェアトレードタウン浜松のリーフレット2種類）

岡山ESDプロジェクト参加事業

フェアトレード研修交流会

SDGs×エシカル消費 どんな未来に住みたい？

2017年11月に日本で4番目のフェアトレードタウンになった浜松市から、中心メンバーとしてご活躍の下澤嶽さんをゲストにお招きし、エシカル消費やSDGsのこと、日本初のフェアトレード大学となった静岡文化芸術大学や浜松市のフェアトレードの取り組みなどについてお話を伺います。

そして、5年先・10年先の未来をどんな社会にしていきたいか、岡山をどんな「まち」にしたいか、みんなで話し合ってお考えを深めましょう。
どなたでもお気軽にご参加ください。

と き:2019年12月14日(土) 14:00~16:30

 と ころ:ハツシュタグ[®] (JR山陽本線 北長瀬駅下車 徒歩3分)
岡山市北区北長瀬表町 2-17-80 BRANCH 岡山北長瀬内
12 つくる責任
つかう責任
 しもさわ たかし
 ゲスト:下澤 嶽さん

 静岡文化芸術大学教授/
 はままつフェアトレードタウン・ネットワーク コアメンバー

日本青年奉仕協会、世田谷ボランティア協会を経て、1988年には(特活)シャブラニール=市民による海外協力の会の駐在としてバングラデシュへ。帰国後、1998年に同会事務局長。2002年7月に退職し、同時にジユマ・ネットを設立。2006年7月から2010年3月まで(特活)国際協力NGO センター事務局長。2010年4月より、静岡文化芸術大学教員。

参加費:無 料 / 定員:30 名

主 催:岡山フェアトレードの会



会の公式 Facebook

※参加申込書は裏面にあります

参加申込書 フェアトレード研修交流会（2019年12月14日開催）

このページを下記連絡先までFAXで送るか、内容をメールで送ってください。 締切：12月12日（木）

ふりかな	
氏名	
電話番号	
お住いの 市区町村名	()市()区 ()町・村
職業 学生は学校名・学年	
年齢（○で囲む）	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70歳以上
下澤さんに 聞きたいこと	

<申込み・問合せ>

岡山フェアトレードの会（事務局：岡山市北区出石町1-8-6 コットン古都夢内）

TEL/FAX：086-225-4663

Mail：okayama.fairtrade@gmail.com

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





← 講師の下澤嶽さん



← グループを回り質問に答える下澤さん



← 各グループで話し合った内容を発表



← グループの発表を熱心に聞く下澤さん



← イベント終了後、会場前で参加者記念撮影